

事業所における自己評価（公表）

公表：令和2年3月28日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	8	1		・その日の利用人数によって検討の必要を感じている。 ・併用利用のお子さんの利用人数が集中するときは調整を行ってもよいように思う。（特に夏休みなど）
	2	職員の配置数は適切である	3	6	・人員を確保するため、時間をずらしている。 ・個別対応が必要な場合が多く、声をかけ合い対応するようにしている。	・互いにフォローしながらやっているが、厳しい現実である。 ・その日の状況によっては適切でないことがある。 ・職員の充足が課題。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	9			・この部屋はこの活動という風になっているが、構造化には改善は必要。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	9		・静と動の活動の空間が明確になるよう努めている。	
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	9			
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	9			
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	9			
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	5	4		・今後取り入れていくことで資質向上につなげていきたい。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	9		・できる限り大勢の職員が参加できるようカンファレンスの時間帯を工夫している。 ・参加したい研修に行かせてもらえることが多い。	
	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	9			
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	8	1		

適切な支援の提供	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	9				
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	9			・日々一人一人の発達の小さな変化に気づくことを心がけ、計画の振り返りにつなげている	
	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	9				・定期的に指導会議を実施し、共有するとともに互いの考えを尊重しあいながらプログラムを考えている
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	9				
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成している	9				
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	9				・連携をとりながら進めていく上でとても重要。
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	9				・療育終了後、カンファレンスを行い、振り返りをしている。参加できない職員にはノートを使って情報共有している。 ・カンファレンスで話し合うことを大切にしている。
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	8				・日々の支援が目標や計画に沿っているか等を振り返り、職員間で確認しながら記録をとっている。
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	9				
	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	9				
22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	9					
23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	6	1			・今後行うため、状況をふまえて準備中。	
24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	6	1			・支援担当者会議等の会議や保護者を通じて情報共有している。 ・今後行うため、状況をふまえて準備中。	

関係機関や保護者との連携	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	9		・実際に様子を見に来ていただいた上で共通理解につなげている。 ・保育園入園前に園の職員に様子を見に来てもらったり、支援について伝えたりしている。	
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	9		・すこやかファイルを使った情報交換会で、保護者と共に本人の様子やこれまでの支援を伝えている。	
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	9		・長岡療育園のPT・OT・ST相談日は、個々の発達や対応について再確認できる日になっている	
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	3	7		・併用は機会があるが、日々利用のお子さんは難しいのが現状。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	9			
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	9		・保護者に直接会えないこともあるが、連絡帳を用いるなどして情報共有している。	
保護者への説明責任等	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	5	4		・特に銘打って行っていないが、保護者とかかわる際には意識して対応している ・話を聞いたり、助言はするが、支援プログラムは難しい
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	9			
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	9			
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	9		・保護者からの相談は、必ず職員で周知し保護者の心の動きを常に把握するよう努めている	
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	8			
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	9			

守	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	9			
	38	個人情報の取扱いに十分注意しているか	9			
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	9			
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	8	1	・主任児童委員、保育園、併行利用児の園職員を招待している。	
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	9			
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	9		様々なケースの訓練ができるよう計画を立てている	
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	9			・予防接種の把握は行っていない。
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	9			
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	9			・日々様々なヒヤリがあるが、今年度は報告書が少ない。大きな事故を防ぐためにも職員全員で報告書の記入の習慣を心がける必要を感じている
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	8	1		・虐待防止についての取組について具体的に考えたり、職員間で共通意識を持っていきたい。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	4	5		・口頭では確認しあっているが、現状では身体拘束は行っていないと認識しているため、記載はしていない。 ・自分の今行っている対応について、戸惑うことも多いので、それを出し合い、自分ひとりで抱えこまないような研修をめざしたい。 ・職員間で共通意識を持ったり、研修等で具体的に学んでいきたい。

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です